



虹ヶ丘

<https://kawasaki-edu.jp/2/511/nizigaoka/>虹ヶ丘小学校
ホームページ ⇨

「知らない」を知ることから始まる、豊かな学びの秋

校長 福岡 雄二

朝夕の涼風に秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、秋の一大行事である運動会の開催が迫ってまいりました。今年はいにく不順な天候が続く、校庭での練習が制限される日々が続いております。しかし、子どもたちは限られた条件の中でも工夫を凝らし、体育館や教室でダンスの練習をしたり、作戦を熱心に話し合ったりしています。こんな状況の中でも、知恵を出し合い前向きに努力を重ねる子どもたちの姿には、頼もしい成長を感じております。本番では、互いを支え合い高め合ってきた練習の成果を、存分にご覧いただきたいと存じます。

また、10月9日には「前期の終了」という大きな節目を迎えます。配付いたします通知表は、この半年間で子どもたちが挑戦し成し遂げた成果の記録です。ご家庭におかれましても、努力の過程や新しくできるようになったことを具体的に取り上げ、大いに褒めてあげてください。それが次のステップへの自信と意欲につながります。

春に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」および「川崎市学習状況調査」の結果概要については、先日配付の文書でお伝えした通りです。本校ではこれらの分析結果を踏まえ、確かな学力の定着に向けた授業改善を進めております。その取り組みの一環として、一人一台の端末で活用できるポータルサイト「かわさきDパレット」の積極的な利用を推進していきたいと思っております。ここには、基礎・基本の定着を図るデジタルドリルや、探究心を刺激する多様なコンテンツがそろっています。学校の授業での活用にとどまらず、家庭学習においても自分の習熟度に合わせて苦手分野をじっくり復習したり、発展的な課題に挑戦したりすることが可能です。個別最適な学びを支えるツールとして、ぜひ日常的な学習習慣の中に組み入れてご活用ください。

私たちが子どもたちに伸ばしてほしいのは、「自ら進んで学ぶ力」です。そのための意識付けとして着目したいのが「知ることの4つの形態」という概念です。人が何かを認知するプロセスには、以下の4つの段階があります。

1. 知っていることを、知っている（理解しており、自分でも自覚している状態）
2. 知らないことを、知っている（何が分からないかが分かっており、学びの目的がある状態）
3. 知らないことを、知らない（世の中にそれがあることすら気づいていない状態）
4. 知っていることを、知らない（無意識にできていることや、自分でも気づいていない潜在能力）

学習において大きな障壁となるのが、3番目の「知らないことを、知らない」状態です。自分が何を知らないのかに気づいていない時、そこに疑問や探求心は生まれません。学校教育の重要な役割の一つは、多様な体験や学びを通して視界を広げ、「世の中には自分の知らない面白い世界がこんなにもあるんだ！」と気づかせることにあります。「自分にはまだ知らないことがある」と認識した瞬間こそが、自発的な学びの真のスタートラインだと考えます。

試行錯誤を重ねた練習の先に迎える感動の運動会、そして未知の知識との出会いに胸を躍らせる日々の授業。子どもたちが自身の可能性を広げていけるよう、今後も教職員一同全力で支援してまいります。

前期の温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、後期も変わらぬご協力とご温情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。